



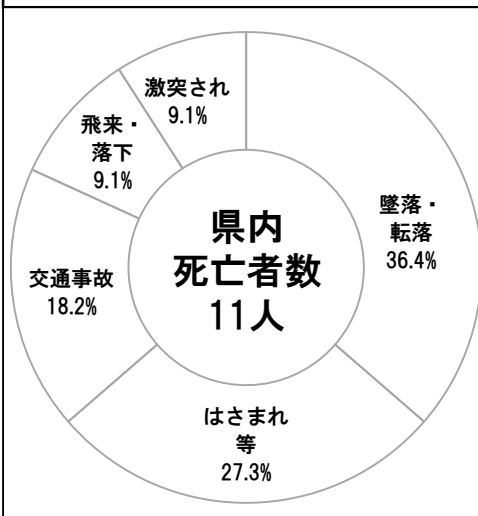
第99回 全国安全週間

◆本週間／令和8年7月1日から7月7日 ◆準備期間／同6月1日から6月30日

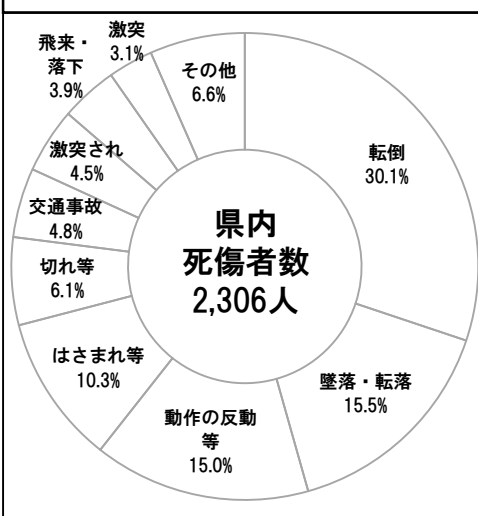
令和8年度
スローガン

多様な人材 全員参加 みんなで育てる安全職場

令和7年 事故の型別 死亡災害発生状況



令和7年 事故の型別 労働災害発生状況 (休業4日以上災害)



労働災害による死傷者数(休業4日以上)は1日約6人(県内)

長野県内の令和7年における休業4日以上の労働災害による死傷者数(新型コロナ関連を除く)は2,306人で、1日当たりにすると約6人が被災しています。このうち、岡谷労働基準監督署管内における死傷者数は197人で、前年と比べ17人減少しています。なお、岡谷市内の死傷者数は42人で、前年に比べ1人増加となります。

死亡者数は11人(県内) 岡谷労働基準監督署管内は1人

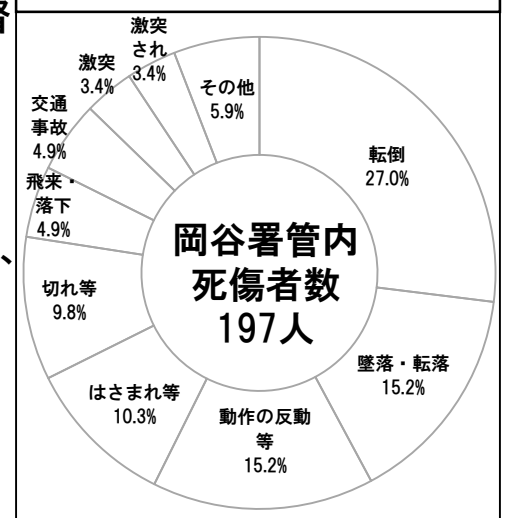
長野県内の令和7年における労働災害による死亡者数は、前年に比べ5人減少し11人となり、昭和35年の統計開始以降最少の記録となりました。

事故の型別でみると、「墜落・転落」が最も多く4人、次いで「はさまれ・巻き込まれ」が3人、「交通事故」が2人、「飛来・落下」「激突され」がそれぞれ1人となっています。

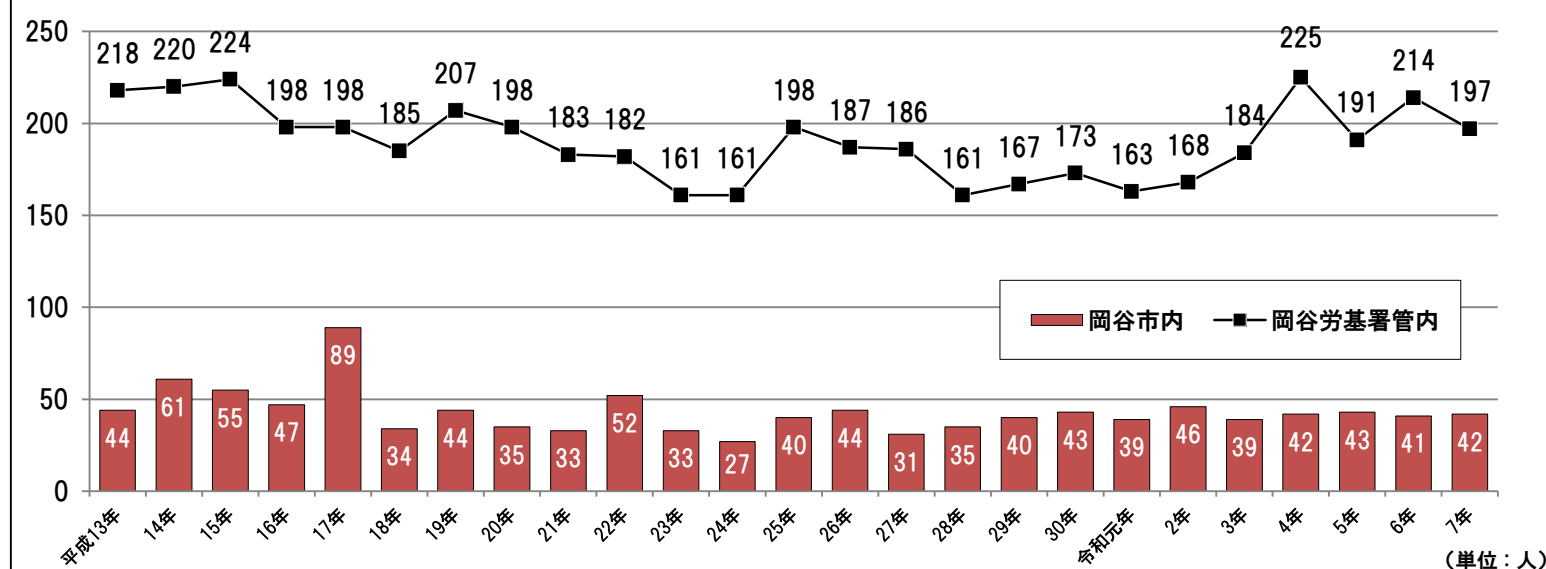
業種別でみると、「建設業」が最も多く4人、次いで「製造業」が2人、「索道業」「農業」「卸売業」「社会福祉施設」「清掃・と畜業」がそれぞれ1人となっています。

岡谷労働基準監督署管内においては、令和7年の死亡者は1人となりました。

令和7年 事故の型別 労働災害発生状況 (休業4日以上災害)



岡谷労働基準監督署管内における労働災害の推移(休業4日以上災害)



安全 + 第一



岡谷市安全会議

7月1日は「安全の日」です～「安全」について皆さんで考えましょう～

全国安全週間（7/1～7/7）及び準備期間（6/1～6/30）中に、より一層の安全管理活動に取り組みましょう！

職場安全

各業種の重点災害をなくそう！

- ・ 製造業における、機械設備による「はさまれ・巻き込まれ」災害
- ・ 建設業における、高所からの「墜落・転落」災害
- ・ 運送業における、トラックの荷台等からの「墜落・転落」災害
- ・ 第三次産業における、「転倒」災害と「無理な動作（腰痛）」災害をなくそう！

毎年7月1日から7月7日までは全国安全週間、6月1日から6月30日まではその準備期間となっています。この期間には、各企業のトップが率先し、集中的に、次の事項について取り組みましょう！

- ① 安全大会、研修会、職場安全パトロールを通じ、関係者の安全意識の高揚を図り、安全作業を徹底する。
- ② 危険予知（KY）活動、危険の見える化、危険再認識教育等を通じた作業者の危険感受性を高める安全教育を実施する。
- ③ 製造業においては、機械設備による「はさまれ・巻き込まれ」災害、「切れ・こすれ」災害防止対策（機械稼働部と作業者の隔離措置、清掃・調整時等における機械停止）を徹底する。
- ④ 建設業においては、足場等からの「墜落・転落」災害防止対策として、手すり先行工法を積極的に採用し、墜落制止用器具（フルハーネス型等の安全帯）の使用を徹底する。
- ⑤ 運送業においては、トラックの荷台、積卸し場所、倉庫等における荷役作業時の「墜落・転落」災害防止対策を徹底する。
- ⑥ 第三次産業においては、4S（整理、整頓、清掃、清潔）の徹底による「転倒」災害の防止対策と「腰痛」予防対策を徹底する。
- ⑦ すべての職場で「転倒」災害防止対策に取り組む。また、熱中症対策として、水分・塩分のこまめな摂取、日常の健康管理、熱中症発生時の対応手順の整備・周知等に留意する。併せて、高年齢者の特性に配慮した作業環境の改善を図る。



家内安全

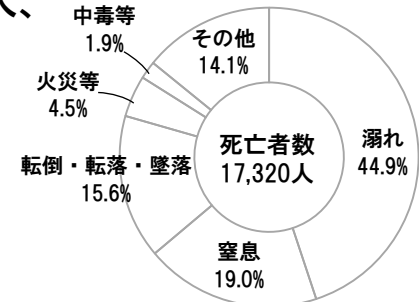
家庭内の不慮の事故をなくそう！

家庭内の不慮の事故死は1日「47人」（全国）

令和6年に発生した「不慮の事故死」は45,743人、このうち17,320人が家庭内において亡くなっており、1日当たりにすると約47人になります。

事故の発生態様をみると、「溺れ」「窒息」「転倒・転落・墜落」「火災等」「中毒等」の順となっています。

（資料／人口動態調査）



家庭内事故死の割合

交通安全

交通事故をなくそう！

交通事故死は1日「7人」（全国）

全国で令和7年に交通事故で亡くなった人は2,547人で、1日当たりにすると約7人になります。この内、長野県の死亡者数は44人で、前年と比べて13人の減少となります。

（資料／道路の交通に関する統計）

県内における、交通労働災害による死亡者は「2人」

長野県で令和7年に交通労働災害で亡くなった人は2人で、死亡災害全体の18.2%を占めています。

時間にゆとりを持って、シートベルトを必ず着用し、思いやりと譲り合いの心で交通事故を起こさない・あわないよう、安全運転でお互い十分に注意しましょう！

危険を予測し 事故を防ぎましょう！

岡谷市安全会議